

今月の山柳



今月の色

泊夫藍色

秋咲きの薄紫の花のものをサフラン、春先の黄色の花のものをクロッカスといひます。 視覚デザイン研究所 「和の色のものがたり」より

灼熱の太陽に焼かれて帰った後食べる、お昼のそうめんの喉越しは最高だ。 夏の間は毎日飽かずに食べるには薬味が大切。我が家ではすりごま、おろし生姜、わさび、七味唐辛子、らっきよ酢などをつゆに入れ、ピーマン、みょうが、きゅうり、にがごうり、梅干し、刻み海苔などを好みでトッピングする。前から一把に数本ピンクや緑色の麺が入っているの不思議に思っていた。元元はそうめんと区別するためにひや麦に入れていたものらしい。見た目にも涼しく爽やかに食べてほしいということで今はそうめんにも入れている（メーカー広報）とのこと。



野鳥ウォッチング ④

シロチドリ

シロチドリは河川敷などに生息し群れで見ることがあります。 胸の黒帯が途中で途切れ、つなげていません。 水生昆虫を食とし「ピュル・ピュル」と鳴きます。

矢部村 栗原 浩暢



こんにちは。 筑後警察署です。 ④8

筑後警察署から、夏休みの子どもたちに対する犯罪被害の予防や危険防止についてのお願ひです。

全国的に子どもが被害者となる事件事故が相次いでおり、筑後地区でも、子どもに対する声かけやつきまといなどの事案が発生しています。

また、夏休みに入ると、家族で山や海などへレジャーに出掛ける機会が増えると思いますが、同時に、転落事故や水難事故などに遭う危険性も増えてしまいます。

子どもたちを危険から守るためには、子どもたち自身が被害予防や危険防止の心構えを持つとともに、保護者の方や地域の方が、子どもたちの安全を守るために配慮することが大切です。

子どもたちには、①知らない人にはついていかないこと！②危険な場所に近づかないこと！③どこで誰と遊び、何時までに帰るか親に必ず話しておくこと！④防犯ブザーを常に持ち歩くこと！を教えてください。

そして保護者の方や地域の方は、①子どもが集まる場所に目を配る！



- ②一人にいる子どもに目を配る！
- ③危険な場所にいる子どもに声を掛け！目を離さない！、といった点に留意してください。

7月の道の駅たちばな

ひるよけ夏祭り

8月11日(土祝) 午前10時～午後3時

～たちばな縁日～

★射的★釣りゲーム

*射的・釣りゲームは当日お買上1000円以上のレシートでお一人様一回

イベント広場にて

★ほたる揚げ★焼き鳥

★夏野菜カレーの振舞い

*なくなり次第終了となります。

～生産者対面販売コーナー～

★盆花アレンジフラワー・ガキ水

★フライドポテト・お茶の対面販売

★立花焼き・鬼の手ごぼし

★八女農業高校対面販売 ...etc

*8月の店休日(水)となります。

道の駅 たちばな 立花町下辺春国道3号線沿 TEL 0943-37-1711



筑後市津島 下川 百合子

定年を迎え、毛筆で書く事が多くなりましたが仲々思う様に書けず、何とかしたいと思っていました。 そんな時サンコアで書道教室が始まり自信はないけど十年頑張ろうと一念発起し、永田先生にご指導頂いております。先生のお陰で雑だった字も丁寧に書ける様になりました。今後も「道」ひとすじに頑張っていきたいと思っています。

教師道

⑤

森下 計二

「アイデンティティ」という言葉があります。自己同一性と訳しますが、子どもは自分と他人との間の空間がよく理解できません。大人にも起きますが、自分というものがあ

いまいで、周りの家族や友達の雰囲気や習慣などに押し流されてばかりです。気付かずに、いじめをしていたり、集団に付和雷同していたりします。そのため、親とかきようだい、友達らをほつきり自分と、かけがえない心の別の人であることを知る必要があります。

十歳(四年生)と言えば、二十歳の半分です。それで、例えば「二分の一人式」と名付けて、教室や家庭でお祝いの会を開いたり、それま

での生い立ちを作文に書かせたりします。六年生で「我が生い立ちの記」として、誕生から、保育園・幼稚園、そして、小学校の生活の思い出を、卒業を期してまとめさせることもあります。言わば自分史・人生史の第一歩です。

自分という存在を誕生から、今まで育ってきた時間を軸として、自身で理解することは、とても大切なことです。自分をいつでも見つめ直すことができる、しっかりした子になっていきます。

教え子が「先生に書かされた作文今も大事に持っているよ」……。

それがうれしくて、私は同窓会に呼ばれるといそいそと出かけて行くのです。



溶岩焼肉 弁当・仕出し おおくま

旧 JR 道路と県道久留米・立花線が交わる祈禱院にあります。地味な造りなので見落されがちです。昼は奥さんが中心で弁当、仕出しのお店、夜はご主人が仕切る焼肉屋さんになります。

7月にリニューアルしたばかりの店内には個室のテーブル席、仕切りのある座卓で約30名収容できます。

店主の大隈貴博さんが南小国の石工さんと話中で溶岩焼肉でいこうと決めました。阿蘇の溶結凝灰岩のプレートが、焼肉をおいしく焼き上げる230℃前後を保つこと、遠赤外線、焦げずに煙も少ないことが決め手になりました。

セットコースの他サイドメニュー、単品料理も豊富で、家族連れも満足できそう。ドリンク類も数多くある中で店主は「デュワーズのハイボールは飲みやすく来店の際にはぜひ試してほしいですね」と自信を持って推奨されました。

肉のことを知り尽くした店主の溢れる元気を分けてもらえばこの夏を夏バテ知らずで過ごせそうな気がするお店です。

溶岩焼肉 弁当・仕出し おおくま
八女市祈禱院115-6 ☎090-3410-8929
営業(焼肉)PM5:00-PM10:00
不定休・駐車場あり



(左)阿蘇の溶岩プレート 珍しいデュワーズ1.75L(中央)

この券で店内飲食のお客様1グループの
お会計から
10%割引します
H30年8月末迄有効
溶岩焼肉 おおくま